

命をつなぐ道 ～緊急輸送路を確保～

高速道路が早期の緊急輸送路の確保に貢献

東日本大震災では、1日後には東北道、常磐道は緊急車両が通行可能になり、人命救助、緊急物資の輸送に大いに貢献しました。高速道路は、早期に緊急輸送路の機能を確保することが可能となります。

また、鉄道が本格復旧するまでの間は、物流面のみならず、高速バスなどをはじめとした旅客輸送にも多大な貢献を果たしました。

■東日本大震災における緊急交通路の利用状況



※東北自動車道(福島飯坂～国見)

出典: 緊急交通路の利用状況(東北地方太平洋沖地震による高速道路の被害と復旧状況について 平成23年3月18日: 東日本高速道路株式会社)



※東北自動車道(仙台宮城～泉)

■東日本大震災における高速道路の被害・復旧状況 (常磐自動車道 水戸～那珂:上り線)



2011年3月11日 16:30頃

出典: 高速道路本線の復旧状況と復旧見込み(東北地方太平洋沖地震による高速道路の被害と復旧状況について 平成23年3月24日: 東日本高速道路株式会社)

わずか6日後



2011年3月17日 17:00頃

新東名高速道路(愛知県区間)も災害時等の緊急輸送路として機能を発揮することが期待されます。